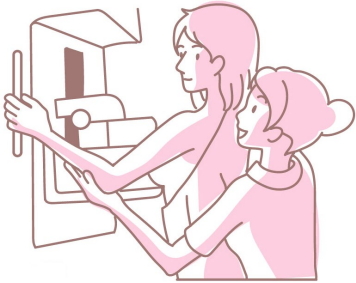


■ 各検査方法の特徴

	マンモグラフィー検査	乳腺超音波検査	無痛MRI検査
検査の様子			
痛み	あり（人による）	ほとんどなし	なし
胸の露出	あり	あり	なし
高濃度乳房	適さない	適している	適している
インプラント	原則的に検査不可	可能 （十分観察できない場合あり）	検査可能
妊娠中・授乳中	原則的に検査不可	検査可能 （診断精度は若干落ちる）	検査可能
放射線被爆	あり（身体への影響はない）	なし	なし
死亡率減少効果	認められている	現状明らかでない	現状明らかでない
自治体での実施	あり	原則なし	なし
検診費用	4,000～8,000円	3,000～6,000円	20,000～30,000円
検査時間	10分程度	10～15分程度	30分程度
留意事項	・国の指針は40歳以上の女性に対し、2年に1回受診推奨 ・石灰化のある小さながんの発見に適している	・20～30代女性の検診方法として採用している自治体あり ・石灰化のある小さながんの発見には向いていない	・機器の狭さや音が苦痛になることがある ・受診できる医療施設に限られる